



長岡京市男女共同参画計画 第7次計画 令和6年度 進行管理報告書

令和7年7月
長岡京市



＜計画の体系＞

基本目標	成果指標	活動指標	担当課
Ⅰ 人権の尊重と 男女共同参画 の意識づくり	「社会全般」として 「男女が平等になっ ている」と感じている 人の割合	1. ホームページにおける市 の「男女共同参画」ページ へのアクセス数	男女共同参画 センター
	「男性は仕事、女性は 家庭」と思う人の割合	2. 男女共同参画週間事業参 加者へのアンケートで「男 女共同参画への意識が深 まった」と回答した人の割 合	男女共同参画 センター
		3. 性の多様性理解啓発事業 参加者へのアンケートで 「性の多様性への意識が 深まった」と回答した人の 割合	共生社会推進 課
Ⅱ 男女平等・男 女共同参画の 視点に立った 教育・学習の 推進	「男女共同参画社会」 という言葉の認知度	4. 若年層に向けた男女共同 参画に関する意識啓発の 回数	男女共同参画 センター
		5. 男女共同参画に関する講 座・セミナーの参加者数	男女共同参画 センター
Ⅲ あらゆる分野 における女性 活躍の推進	「政治・行政の場」で 「男女が平等になっ ている」と感じている 人の割合	6. 長岡京市審議会等への女 性委員の参画比率	男女共同参画 センター
		7. 長岡京市の審議会等への 女性委員の参画比率が 40%～60%である割合	男女共同参画 センター
	「職場」で「男女が平 等になっている」と感 じている人の割合	8. 長岡京市の女性管理職の 割合	職員課
		9. 男女共同参画フロア(いこ ～る)の承認団体数	男女共同参画 センター
	「地域」で「男女が平 等になっている」と感 じている人の割合	10. 女性活躍に関する講座の 参加者数	男女共同参画 センター
		11. 防災学習会の実施回数と 女性参加者の割合	防災・安全推進 室

	「家庭生活」で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	12. 男性に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数	男女共同参画センター (中央公民館、北開田会館)
		13. 長岡京市男性職員の育児休業取得者数	職員課
IV あらゆる暴力の根絶	「ドメスティック・バイオレンスやデートDV」を女性の人権侵害と思う人の割合	14. 若年層へのDV等防止啓発事業の実施回数	男女共同参画センター
	男女共同参画センター(女性の相談室・男性電話相談)を知っている人の割合	15. パープル&オレンジリボンプロジェクトの参加者数	男女共同参画センター
V 健康で安心な暮らしの実現	「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」という言葉の認知度	16. 乳がん検診受診率(40～69歳)	健康づくり推進課
		17. 子育て応援教室の参加率	健康づくり推進課

長岡京市男女共同参画計画第7次計画 令和6年度進行管理 達成状況一覧

活動指標	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度 □ は達成	R7 年度 目標値
①ホームページにおける市の「男女共同参画」ページへのアクセス数	32,251 件/年	45,062 件/年	22,180 件/年	19,387 件/年		20,000 件/年
②男女共同参画週間事業参加者へのアンケートで「男女共同参画への意識が深まった」と回答した人の割合	86.7%	73.8%	100%	64.0%		80.0%
③性の多様性理解啓発事業参加者へのアンケートで「性の多様性への意識が深まった」と回答した人の割合	91.6%	86.3%	90.5%	100%		60.0%
④若年層に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数	10 回/年	11 回/年	10 回/年	7 回/年		9 回/年
⑤男女共同参画に関する講座・セミナーの参加者数	406 人/年	657 人/年	691 人/年	810 人/年		のべ 600 人/年
⑥長岡京市審議会等への女性委員の参画比率	38.0%	39.9%	38.2%	39.3%		40.0%
⑦長岡京市の審議会等への女性委員の参画比率が 40%～60%である割合	40.7% (22/54 審議会)	48.1% (26/54 審議会)	47.1% (24/51 審議会)	50.0% (28/56 審議会)		65.0%
⑧長岡京市の女性管理職の割合	29.9%	29.3%	29.5%	34.3%		30.0%
⑨男女共同参画フロア(いこ～る)の承認団体数	15 団体	14 団体	12 団体	12 団体		20 団体
⑩女性活躍に関する講座の参加者数	のべ 51 人/年	のべ 36 人/年	のべ 58 人/年	のべ 68 人/年		のべ 50 人/年
⑪防災学習会の実施回数と女性参加者の割合	22 回/年 58.9%	43 回/年 60.4%	53 回/年 51.5%	53 回/年 56.5%		58 回/年 50.0%
⑫男性に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数	4 回/年	6 回/年	6 回/年	6 回/年		5 回/年
⑬長岡京市男性職員の育児休業取得者数	4 人 (新規 3 人)	12 人 (新規 8 人)	22 人 (新規 10 人)	31 人 (新規 9 人)		実数 5 人/5 年間
⑭若年層へのDV等防止啓発事業の実施回数	3 回/年	4 回/年	3 回/年	3 回/年		5 回/年
⑮パープル&オレンジリボンプロジェクトの参加者数	のべ 782 人/年	のべ 511 人/年	のべ 681 人/年	のべ 582 人/年		のべ 400 人/年
⑯乳がん検診受診率(40～69 歳)	11.3%	12.7%	14.3%	14.8%		13.8%
⑰子育て応援教室の参加率	17.9%	13.7%	25.2%	29.0%		25.0%

基本目標 I 人権の尊重と男女共同参画の意識づくり

様々な機会や媒体を活用し、あらゆる世代に向け男女平等・男女共同参画意識啓発を行い、「ジェンダー平等の実現」を推進します。また、多様な性のあり方を尊重する取り組みを進め、一人ひとりの人権が尊重される社会の意識づくりを進めます。

取組方針	施策の方向
1 男女平等・男女共同参画意識の浸透	1 男女平等・男女共同参画の意識の浸透 2 国際的視野に立った男女共同参画施策の情報収集・提供の充実 3 相談の充実 4 情報化社会における人権尊重・男女平等の推進
2 性の多様性を認め合う意識の醸成	5 性の多様性への理解促進

活動指標①	ホームページにおける市の「男女共同参画」ページへのアクセス数			
指標内容	男女共同参画の意識啓発の進む度合について、ホームページで新たな情報を発信するとともに、市民の関心をひくような内容の充実が図られているかをアクセス件数によって測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	20,000（令和7年度）		単位 件／年	
現状値	17,636（令和元年度）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
32,251	45,062	22,180	19,387	
令和6年度 担当課所見	「ハラスメント防止」や「育児休業法改正」「女性活躍推進法改正」など、ホームページの内容の充実に努めました。 アクセス数の多かった上位3位は、「長岡京市男女共同参画センター」1,143件、次いで、「世界における日本の男女共同参画 ～ジェンダー・ギャップ（男女平等）指数 2024～」1,095件、「女性の相談室」913件の順でした。 引き続き、センターの事業をはじめ、男女共同参画の啓発内容の充実を図ります。			

活動指標②	男女共同参画週間事業参加者へのアンケートで「男女共同参画への意識が深まった」と回答した人の割合			
指標内容	男女共同参画週間事業を開催し、どれだけの参加者が男女平等・男女共同参画への意識を深めることや意識変革ができたかを測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	80.0（令和7年度）			単位　　％
現状値	69.7（令和元年度）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
86.7	73.8	100.0	64.0	
令和6年度 担当課所見	男女共同参画週間講演会『紫式部　自分らしく生きる』と題して、京都先端科学大学教授の山本淳子さんによる講演会を実施しました。内容については、「とてもよかった」と「よかった」が98%となり、満足度の高い講演会ではありましたが、男女共同参画の意識が「深まった」「どちらかといえば深まった」の回答は64.0%となりました。紫式部が生きづらさの中で試行錯誤を繰り返しながら、『源氏物語』を作り上げた経緯を知って、自分の生き方を見直すという点で、男女共同参画の意識を深めることにつながったと考えます。また、講座の開催に加え、図書館での啓発コーナーや男女共同参画センターの関連本の展示など、幅広く啓発を実施しました。			

活動指標③	性の多様性理解啓発事業参加者へのアンケートで「性の多様性への意識が深まった」と回答した人の割合			
指標内容	性の多様性理解啓発事業を開催し、どれだけの参加者が性の多様性への意識を深めることや意識変革ができたかを測ります。			
担当課	共生社会推進課			
目標値	60.0（令和 7 年度）			単位 %
現状値	令和 3 年度からの新規			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
91.6	86.3	90.5	100	
令和 6 年度 担当課所見	子ども対象の研修「うちわ作りを通して『多様な性』について学んでみよう」をワークショップ形式で実施した他、企業の方を対象とした研修を実施するなど、多様性を尊重する意識の醸成に取り組みました。広報やチラシ、市ホームページなどで積極的な PR を行った結果、関心の高い参加者が多く見られました。 ターゲットを絞った研修を実施することで参加者の意識が深まるよう努め、性の多様性について啓発を行います。			

基本目標 II 男女平等・男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

子どもたちが性別にとらわれることなく、それぞれの個性を発揮して、誰もが共に活躍できるように、保育所や学校、家庭などで男女平等教育・学習を推進します。また、男女共同参画社会が、すべての人にとって暮らしやすい社会づくりにつながるという認識を広げる学習機会の充実を図ります。

取組方針	施策の方向
3 子どもにとっての男女共同参画の理解促進	6 学校、保育所、幼稚園など教育・保育の場での男女平等教育・学習の推進 7 家庭・地域での子どもの将来を見通した自己形成の推進
4 生涯学習の場での男女共同参画の推進	8 多様な選択を可能にする学習機会の提供

活動指標④	若年層に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数			
指標内容	中高生や大学生などを対象にした男女共同参画に関する啓発の回数によって、若年層に対する男女共同参画意識の啓発の充実度を測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	9（令和7年度）			単位 回／年
現状値	8（令和元年度）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
10	11	10	7	
令和6年度 担当課所見	市立中学校 4 校に「長岡京市男女共同参画推進条例啓発冊子 Dreams come true」の配布を行い、条例の基本理念と男女共同参画を進めるための鍵、アンコンシャス・バイアスへの気づき、多様な性のあり方、デート DV や対等な関係性を考えることなどを内容とした冊子を授業で活用していただきました。 また、西山短期大学では、学園祭に合わせて 11 月のパープル＆オレンジリボンプロジェクトの啓発資料の配布、乙訓高等学校、西乙訓高等学校では「デート DV 防止啓発出前授業」を実施しました。			

活動指標⑤	男女共同参画に関する講座・セミナーの参加者数			
指標内容	男女共同参画に関する講座などへの参加者数によって、教育・保育及び生涯学習の場での男女平等・男女共同参画意識を深めることや意識変革ができたかを測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	のべ 600 （令和 7 年度）			単位 人／年
現状値	のべ 586 （令和元年度）			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
406	657	691	810	
令和 6 年度 担当課所見	令和 6 年度は、人権・男女共同参画フォーラムや DV・児童虐待防止、女性活躍、女性支援、子育て支援、男女共同参画、男性支援の分野において、15 の啓発講座を実施し、参加者は延べ 810 人に上り目標を達成しました。 今後も引き続き、多くの方に参加いただき男女平等・男女共同参画意識を深めることができるような講座の開催に努めます。			

基本目標 III あらゆる分野における女性活躍の推進

誰もが共に様々な分野における方針決定の場に参画し、活躍できる社会づくりを推進します。また、職場と家庭生活や地域活動など、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働きかけを行います。市民団体の男女共同参画の取り組みを支援し、男女共同参画の地域づくりを進めます。

取組方針	施策の方向
5 政策・方針決定の場への女性の参画拡大	9 市における女性の登用の推進 10 女性リーダーの育成
6 働く場における女性の活躍推進	11 男女平等の雇用機会と待遇の確保 12 女性の起業と就労支援 13 事業所における女性活躍推進への働きかけ
7 地域における男女共同参画の推進	14 あらゆる世代が男女共同参画で取り組む地域づくりの推進 15 防災における男女共同参画の推進 16 男女共同参画を推進する市民活動の支援
8 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現	17 仕事と子育て・介護の両立支援の推進 18 男性の子育て・家庭生活・地域活動への参画促進 19 事業所におけるワーク・ライフ・バランスの理解促進

活動指標⑥	長岡京市審議会等への女性委員の参画比率			
指標内容	審議会などの全委員に占める全女性委員の割合によって、政策・方針決定の場への女性の参画の進む度合を測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	40.0（令和7年度）			単位　　％
現状値	34.2（令和元年度）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
38.0	39.9	38.2	39.3	
令和6年度 担当課所見	審議会等の女性委員の参画比率は39.3%と昨年度より1.1ポイント上がりましたが、目標値に0.7ポイント届きませんでした。令和3年度より市民公募委員の女性参画比率を事前協議書に追加するなどの働きかけを行い、その都度担当課の内容の確認を行いました。市民公募委員の女性割合は令和6年度49.1%となりました。一方、審議会等の構成団体において女性の参画が少ないこと、また女性の専門家が少ない分野などがあることから、各分野への女性の参画拡大と女性の社会進出への啓発を実施していきます。			

活動指標⑦	長岡京市の審議会等への女性委員の参画比率が 40%～60%である割合			
指標内容	長岡京市男女共同参画推進条例に定める審議会などの女性委員割合を達成するため、どれだけの審議会などが達成できているかで積極的格差是正措置の進む度合を測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	65.0（令和 7 年度）			単位 %
現状値	41.8（23/55 審議会）（令和元年度）			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
40.7 (22/54)	48.1 (26/54)	47.1 (24/51)	50.0 (28/56)	(/)
令和 6 年度 担当課所見	女性委員の参画比率が 40%～60%の審議会の割合は、2.9 ポイント上がり 50.0%と上昇しました。女性委員を選出できない理由として、専門分野に女性参画が進んでいないことや、選出団体に女性の役職者がいないことなどが挙げられ、女性委員 0 の審議会が 2 件ある一方、女性委員比率 60%を超える審議会も 2 件ありました。あらゆる分野で女性の参画を進めることが重要であるため、引き続き取り組んでまいります。			

活動指標⑧	長岡京市の女性管理職の割合			
指標内容	管理職の女性割合によって、女性職員が性別にかかわらず能力を発揮できているかを測ります。			
担当課	職員課			
目標値	30.0（令和 7 年度）			単位 %
現状値	25.5（令和元年度）			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
29.9	29.3	29.5	34.3	
令和 6 年度 担当課所見	管理職への登用については、性別にかかわらず個々の能力を重視して評価しています。その結果、女性の割合は昨年度から増加し、目標値を達成する数値となっています。 今後も引き続き性別や固定概念にとらわれることなく、全職員がその能力を発揮できる職場づくりに努めます。			

活動指標⑨	男女共同参画フロア（いこ〜る）の承認団体数			
指標内容	多世代交流ふれあいセンターの男女共同参画フロアを拠点とした活動団体の数によって、地域での男女共同参画の進捗状況を測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	20（令和7年度）			単位 団体
現状値	17（令和元年度）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
15	14	12	12	
令和6年度 担当課所見	男女共同参画フロア承認団体の活動紹介のちらしの作成や、人権・男女共同参画フォーラムでの団体の活動紹介のパネル展示、また、防災をテーマとした交流会をフロアで実施するなど、団体の活動の周知や勧誘に努めましたが、新規加入する団体はありませんでした。			

活動指標⑩	女性活躍に関する講座の参加者数				
指標内容	女性活躍をテーマとした講座やセミナーなどへの参加者数によって、女性活躍への支援の充実度を測ります。				
担当課	男女共同参画センター				
目標値	のべ 50 （令和 7 年度）			単位 人／年	
現状値	のべ 31 （令和元年度）				
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
51	36	58	68		
令和 6 年度 担当課所見	女性活躍推進講座を 3 講座実施し、参加者は、合計 68 人と目標を達成することができました。 3 講座中 2 講座は、マザーズジョブカフェと共催し、「パソコンアプリでできる画像処理」と、「発声と表情」をテーマに実施しました。どちらも就業する上で、必要な知識の習得につながる内容であったことから多くの参加があり、講座テーマに関する参加者の関心の高さや講座への意欲、必要性を感じました。 あと 1 講座は、市内で創業されている女性を講師に迎え、音楽事務所代表や、商店会会長として活躍されている経験から学ぶ「女性活躍」に加えて、参加者が就労に限らず、社会活動における人とのつながりや自分の在り方などの今後の生き方について考える講座を実施しました。				

活動指標⑪	防災学習会の実施回数と女性参加者の割合			
指標内容	防災学習会の実施回数と女性参加者の割合によって、防災における男女共同参画意識の浸透の度合を測ります。			
担当課	防災・安全推進室			
目標値	58 (50.0%) (令和 7 年度)	単位 回／年 (%)		
現状値	29 (54.3%) (令和元年度)			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
22 (58.9%)	43 (60.4%)	53(51.5%)	53(56.5%)	(%)
令和 6 年度 担当課所見	近年頻繁に災害が発生しているため、防災に関する関心が高まっています。また、昨年度に比べて女性の参加率が上昇しました。今後防災における男女共同参画意識がより浸透していくよう計画していきます。			

活動指標⑫	男性に向けた男女共同参画に関する意識啓発の回数			
指標内容	男性への男女平等・男女共同参画に関する啓発の回数によって、男性に対する男女共同参画意識とワーク・ライフ・バランスの意識啓発の充実度を測ります。			
担当課	男女共同参画センター（中央公民館、北開田会館）			
目標値	5 (令和 7 年度)	単位 回／年		
現状値	4 (令和元年度)			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
4	6	6	6	
令和 6 年度 担当課所見	北開田会館では料理教室を 3 回、中央公民館では男女共同参画講座として親子料理教室を 1 回、男女共同参画センターでは、男性支援講座として 2 講座実施しました。男女共同参画センターでは、1 講座は、「終活はまだ早い？今から始める人生の片づけ」と題して、誰もが迎える後半生を、自分らしく豊かに、主体性をもって生きていくための、ココロとモノの片付け方について、心理学をバックボーンに持つ、整理収納アドバイザーである講師に学びました。もう 1 講座は、「何が男を追い詰めるのか～男性心理学概論～」を実施し、「男性は自分の弱みを見せることができない（男は強いもの）」「悩みを話すことが出来ない（男は黙っているもの）」という社会の中で、どうしたら自分らしく心地よく生きていけるかについて、学びました。			

活動指標⑬	長岡京市男性職員の育児休業取得者数			
指標内容	市男性職員の育児休業を取得している人数によって、男女が共同で行う子育てとワーク・ライフ・バランスの意識の浸透が進んでいるかを測ります。			
担当課	職員課			
目標値	実数 5／5 年間（令和 7 年度）		単位 人／5 年間	
現状値	実数 2／5 年間（令和元年度）			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
4（新規 3）	12（新規 8）	22（新規 10）	31（新規 9）	
令和 6 年度 担当課所見	「長岡京市仕事と生活いきいき推進プラン」に基づき、男性職員の育児休業取得率を政府目標と同様の高い目標値を設定して引き続き全庁的に取り組んだところ、男性職員 9 名が新たに育児休業を取得しました。 次年度からは現計画の延長版となる「第 2 次長岡京市仕事と生活いきいき推進プラン」が始まるため、新プランに基づいた職場全体への制度の周知方法を検討するとともに、制度対象者に対する個別説明の実施や職場復帰の支援などをより一層充実させていきます。			

基本目標 IV あらゆる暴力の根絶

女性に対する暴力をはじめ、あらゆる暴力の根絶に向けた啓発や学習機会の充実を図ります。また、若年層の性被害等の防止に向けた情報提供と啓発を進めます。相談体制を充実し、総合的な被害者保護に取り組みます。

セクシュアル・ハラスメントをはじめとする様々なハラスメント防止への意識啓発を進めます。

取組方針	施策の方向
9 女性に対する暴力を許さない社会づくりの意識啓発	20 あらゆる暴力を許さない意識啓発と学習機会の提供
10 配偶者等からの暴力の防止と被害者の保護	21 相談・支援体制の充実 22 被害者保護の徹底と包括的支援・加害者更生支援
11 ハラスメント防止への取り組み	23 様々なハラスメント防止の働きかけと周知

活動指標⑭	若年層へのDV等防止啓発事業の実施回数			
指標内容	中高生や大学生などを対象にしたDV等防止啓発事業の実施回数によって、若年層への暴力を許さない意識の啓発機会の充実度を測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	5（令和7年度）			単位 回／年
現状値	4（令和元年度）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
3	4	3	3	
令和6年度 担当課所見	乙訓高等学校と西乙訓高等学校の2年生を対象に「デートDV防止啓発出前授業」を実施し、3年生には、フォローアップとして「京都SARA」の啓発冊子配布による啓発を行いました。誰もがDVの加害者、被害者、傍観者となることを防ぐために、暴力とは何か、DVが起こる要因を知り、暴力のない対等な人間関係の築き方、互いを尊重し合う関係性を知るとともに、自撮り画像流出の危険性、JKビジネス等の予防と対処についても伝えました。西山短期大学では、11月の学園祭に合わせて、女性に対する暴力をなくす運動のポスターやチラシ、市主催のDVや児童虐待防止の講座の案内等の周知依頼を行いました。			

活動指標⑮	パープル&オレンジリボンプロジェクトの参加者数			
指標内容	パープル&オレンジリボンプロジェクトの参加者数によって、ドメスティック・バイオレンス、デートDV、セクシュアル・ハラスメントなど女性に対する暴力や児童虐待を許さない意識の醸成状況を測ります。			
担当課	男女共同参画センター			
目標値	のべ 400 （令和 7 年度）			単位 人／年
現状値	のべ 310 （令和元年度）			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
782	511	681	582	
令和 5 年度 担当課所見	11 月のパープル&オレンジリボンプロジェクト月間中、児童虐待・DV 防止講座を 2 講座実施しました。 「ヤングケアラーを知っていますか？～現状と支援の課題」の講座では、「講座に参加してヤングケアラーの現状と支援の課題について、関心や理解が深まった」とする回答が 100%となりました。講座が DV やストーカーの被害防止に関する啓発の役割を果たしたと考えられます。 また、「ジェンダーと暴力～子どもへの影響～」の講座では、ジェンダーと暴力の関係性や子どもへの影響について、関心や理解が深まったとする回答が 100%となりました。 その他、市内高等学校 2 校でのデート DV 出前授業や 11 月の図書館啓発コーナー、メッセージ募集等、年間を通じ啓発を行いました。			

基本目標 V 健康で安心な暮らしの実現

心身の健康は、生活の質に大きく関わってくる重要な問題です。リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）についての理解を深めることは、個人の健康と権利を守り、責任を持った生活を送る上で欠かせません。一人の人間として尊重され、健康で安心した生活を送れるよう、支援します。

取組方針	施策の方向
12 リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）に基づく女性の健康支援	24 性に関する理解と性感染症予防などの啓発 25 安心して妊娠・出産できる環境の整備
13 生涯を通じた健康づくりの支援	26 ライフステージに応じた健康支援 27 心と体の健康支援
14 様々な状況にある人への支援と環境整備	28 高齢者・障がいのある人・外国人等が安心して暮らせる環境の整備 29 ひとり親家庭への支援

活動指標⑩	乳がん検診受診率（40～69 歳）			
指標内容	女性に特有な乳がんの予防、早期発見や早期治療できるよう検査等を実施し、女性の健康づくりの環境の充実や意識の浸透の度合を測ります。			
担当課	健康づくり推進課			
目標値	13.8（令和 7 年度）			単位 %
現状値	13.3（令和元年度）			
令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
11.3	12.7	14.3	14.8	
令和 6 年度 担当課所見	個別乳がん検診の予約枠の拡充により、受診率が上昇しました。			

活動指標⑰	子育て応援教室の参加率			
指標内容	妊婦や父親が安心して育児ができるよう子育て応援教室を実施し、妊婦の育児環境の充実や父親の育児への意識の浸透の度合を測ります。			
担当課	こども家庭センター（健康づくり推進課）			
目標値	25.0（令和7年度）			単位　％
現状値	21.3（令和元年度）			
令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
17.9	13.7	25.2	29.0	
令和6年度 担当課所見	教室の定員枠や開催日を増やすことにより、参加率が伸びました。9割以上の参加者が夫婦での参加で、妊婦体験、赤ちゃん人形の抱っこや沐浴体験することで、妊娠中から出産・育児に対するイメージや知識を深め、教材には、今後の生活を夫婦で考える時間を取り入れ、夫婦が協力して子育てを行う意識を高められる内容としました。			

【参考資料】

➤ 女性議員比率（令和 5 年 12 月 31 日現在）

	長岡京市	京都府市区	全国市区
比率	36.4%	25.1 %	19.9 %
現員	22 人	359 人	18,526 人
女性議員	8 人	90 人	3,694 人

＊全国市区、京都府市区には政令指定都市の市議会を含む。

出典：「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（令和 6 年度）」（内閣府 男女共同参画局）

➤ 審議会等の女性委員比率（令和 6 年 4 月 1 日現在）

	A	B	比率 B/A	参考	
	委員総数	女性委員数		京都府市町村	全国
	審議会等数	女性委員が 40～60%の 審議会等数			
附属機関 (地方自治法第 202 条 の 3)	356	131	36.8%	31.9%	29.0%
	34	15	44.1%		
行政委員会 (地方自治法第 180 条 の 5)	31	5	16.1%	18.5%	
	6	2	33.3%		
懇談会等 (市の規則・要綱等)	198	94	47.5%		
	16	11	68.8%		
合 計	585	230	39.3%	33.4%	
	56	28	50.0%		

＊ 基準日現在休会中のものは除く。

＊ 女性委員が 40～60%の審議会等数には、委員の定数が 3 人である審議会等で、女性の構成人数が 1 人又は 2 人の場合を含む。

＊ 全国市区町村、京都府市区町村には政令指定都市を含む。

出典：「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（令和 6 年度）」（内閣府男女共同参画局）

附属機関（地方自治法第 202 条の 3）の女性比率

＊ 地方自治法第 202 条の 3 に定める、法律若しくはこれに基づく政令又は条例の定めるところにより、その担任する事項について調停、審査、審議又は調査等を行う機関

	審議会等の名称	委員総数 (人)	うち女性 委員数 (人)	女性 比率 (%)	担当
1	公務災害補償等認定委員会	5	2	40.0	職員課
2	公務災害補償等審査会	3	0	0.0	職員課
3	議員報酬等審議会	9	3	33.3	職員課
4	法令遵守委員会	5	2	40.0	総合調整法務課
5	男女共同参画審議会	13	7	53.8	男女共同参画センター
6	情報公開・個人情報保護運営審議会	9	4	44.4	総務課
7	情報公開・個人情報保護審査会	4	1	25.0	総務課
8	行政不服審査会	4	1	25.0	総務課
9	建築紛争調整委員会	3	1	33.3	総務課
10	行財政健全化推進委員会	10	3	30.0	総合計画推進課
11	地域創生推進会議	9	1	11.1	総合計画推進課
12	防災会議	30	10	33.3	防災・安全推進室
13	国民保護協議会	26	2	7.7	防災・安全推進室
14	生活環境審議会	14	8	57.1	環境政策室
15	廃棄物減量等推進審議会	11	5	45.5	環境業務課
16	企業立地審査会	6	1	16.7	商工観光課
17	中小企業振興推進会議	14	5	35.7	商工観光課
18	民生委員推薦会	14	7	50.0	地域福祉連携室
19	児童対策審議会	17	9	52.9	子育て支援課
20	乙訓休日応急診療所運営委員会	12	3	25.0	乙訓休日応急診療所
21	国民健康保険運営協議会	13	4	30.8	国民健康保険課
22	都市計画審議会	17	4	23.5	都市計画課
23	まちづくり審議会	8	3	37.5	都市計画課
24	景観デザイン審査会	5	1	20.0	都市計画課
25	ラブホテル建築等規制審議会	9	3	33.3	都市計画課

26	空き家等対策協議会	12	4	33.3	都市計画課
27	空き家等対策審査会	3	2	66.7	都市計画課
28	長岡京市上下水道事業審議会	10	4	40.0	上下水道総務課
29	いじめ防止対策推進委員会	5	3	60.0	学校教育課
30	社会教育委員会	12	6	50.0	生涯学習課
31	スポーツ推進審議会	14	6	42.9	文化・スポーツ振興課
32	文化財保護審議会	10	2	20.0	文化財保存活用課
33	公民館運営審議会	10	6	60.0	中央公民館
34	図書館協議会	10	8	80.0	図書館
小計		356	131	36.8	

行政委員会（地方自治法第 180 条の 5）の女性比率

* 地方自治法第 180 条の 5 に定める委員会及び委員

	審議会等の名称	委員総数 (人)	うち女性 委員数 (人)	女性 比率 (%)	担当
1	選挙管理委員会	4	1	25.0	総務課
2	固定資産評価審査委員会	3	1	33.3	総務課
3	教育委員会	5	1	20.0	教育総務課
4	監査委員	2	0	0.0	監査委員事務局
5	公平委員会	3	1	33.3	公平委員会事務局
6	農業委員会	14	1	7.1	農業委員会事務局
	計	31	5	16.1	

懇談会等の女性比率

* 市の規則、要綱、要項及び要領に基づき設置される懇談会等

	審議会等の名称	委員総 数 (人)	うち女性 委員数 (人)	女性 比率 (%)	担当課
1	平和ビジョン懇談会	13	5	38.5	共生社会推進課
2	北開田会館運営委員会	13	2	15.4	北開田会館
3	入札監視委員会	3	1	33.3	検査指導課
4	産業文化会館運営委員会	9	4	44.4	商工観光課
5	地域健康福祉推進委員会	15	5	33.3	地域福祉連携室

6	市営浴場運営委員会	9	5	55.6	地域福祉連携室
7	地域健康福祉推進委員会障がい福祉部会	17	9	52.9	障がい福祉課
8	障がい者ネットワーク連絡調整チーム会議	25	15	60.0	障がい福祉課
9	地域健康福祉推進委員会健康づくり部会	9	5	55.6	健康づくり推進課
10	食育推進委員会	18	11	61.1	健康づくり推進課
11	地域健康福祉推進委員会高齢福祉部会	11	5	45.5	高齢介護課
12	高齢者虐待防止ネットワーク委員会	16	9	56.3	高齢介護課
13	地域包括支援センター運営協議会	10	6	60.0	高齢介護課
14	地域密着型サービス運営委員会	10	6	60.0	高齢介護課
15	地域学校協働本部	10	4	40.0	生涯学習課
16	北開田児童館運営協議会	10	2	20.0	北開田児童館
	計	198	94	47.5	

➤ 管理職・監督職の女性比率(令和6年4月1日現在)

長岡京市 管理職・監督職の割合

	5			6			【参考】 7 (令和7年4月1日)		
	総数 (人)	女性数 (人)	女性 割合 (%)	総数 (人)	女性数 (人)	女性 割合 (%)	総数 (人)	女性数 (人)	女性 割合 (%)
管理職（部長級、次長級、 課長級）	105	31	29.5	108	37	34.3	98	34	34.7
監督職（課長補佐級、係長 級）	118	65	55.1	117	60	51.3	135	65	48.1
管理職・監督職 計	223	96	43.0	225	97	43.1	233	99	42.5
職員 計	568	299	52.6	573	305	53.2	572	307	53.7

管理職の割合

	長岡京市	京都府市区町村	全国市区町村
比率	34.3%	21.0%	18.4%
総数	108 人	2,886 人	108,401 人
女性数	37 人	607 人	19,938 人

* 全国市区町村、京都府市区町村には政令指定都市を含む

出典：「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（令和6年度）」（内閣府男女共同参画局）